

母の愛の心を復権させよう

母の愛の心を復権させよう。母の愛の心は、人間の心の中にある最も大切な宝である。母の愛の心は、人間の心の中にある最も大切な宝である。母の愛の心は、人間の心の中にある最も大切な宝である。



母の愛の心を復権させよう。母の愛の心は、人間の心の中にある最も大切な宝である。母の愛の心は、人間の心の中にある最も大切な宝である。母の愛の心は、人間の心の中にある最も大切な宝である。

母の愛の心を復権させよう。母の愛の心は、人間の心の中にある最も大切な宝である。母の愛の心は、人間の心の中にある最も大切な宝である。母の愛の心は、人間の心の中にある最も大切な宝である。

半島の永世中立国化が理想 日本には大きな経済的効果

半島の永世中立国化が理想。日本には大きな経済的効果。半島の永世中立国化が理想。日本には大きな経済的効果。半島の永世中立国化が理想。日本には大きな経済的効果。半島の永世中立国化が理想。日本には大きな経済的効果。

北朝鮮を変えるカギに 兄弟関係では和解できず

北朝鮮を変えるカギに。兄弟関係では和解できず。北朝鮮を変えるカギに。兄弟関係では和解できず。北朝鮮を変えるカギに。兄弟関係では和解できず。北朝鮮を変えるカギに。兄弟関係では和解できず。

東アジア共同体をめざして

韓国漢陽大学名誉教授 金容雲氏の講演(要旨)

東アジア共同体の形成は、東アジアの平和と繁栄の鍵である。東アジア共同体の形成は、東アジアの平和と繁栄の鍵である。東アジア共同体の形成は、東アジアの平和と繁栄の鍵である。

持論 時論

東アジア共同体の形成は、東アジアの平和と繁栄の鍵である。東アジア共同体の形成は、東アジアの平和と繁栄の鍵である。東アジア共同体の形成は、東アジアの平和と繁栄の鍵である。

東アジア共同体の形成は、東アジアの平和と繁栄の鍵である。東アジア共同体の形成は、東アジアの平和と繁栄の鍵である。東アジア共同体の形成は、東アジアの平和と繁栄の鍵である。

地球

地球の未来は、人類の未来である。地球の未来は、人類の未来である。地球の未来は、人類の未来である。

金石季さんとの会話

金石季さんとの会話。金石季さんとの会話。金石季さんとの会話。金石季さんとの会話。金石季さんとの会話。

キム・ヨングン 1927年、東京生まれ。47年、早稲田大学を中退し、解放後の韓国に帰国。58年、慶熙大学、カナダのアルバータ大学から位相数学で博士号を受ける。68年、韓国、浦項大学で教授を務める。韓国の著名な数学者、文明評論家でもあり、国際日本文化研究センターなどで客員教授を務めるなど、たびたび来日。前韓国MBC放送文化振興会理事長。著書に『韓国人と日本人』『かしく型』日本人と『かちき型』韓国人など。

その事情は、現在の北朝鮮が置かれた状況にも通じる。北は日本の軍部と同じようなことをやりかねない。物理的な圧力だとか政治的、外交的な圧力をかけるより、もっと重要なことがある。人間同士としての愛・サランだ。彼らが私たちの愛を信じていることができるならば、彼らだって譲歩するだろう。

あの政權はまともな政權ではない。数百万人を餓死に追い込んだ。政治的な力学、単純な経済的な対応ではなく、愛の心によらなければ、あの国は変わらないうと思う。現在、継続されている六方国協議も、単に核を放棄させるだけの会議ではなく、核をなくしたあと、韓半島のあり方をどうすべきかを考えていかないと絶対北の問題は解決しない。双方の互いの理解を求めていく作業がもっと必要だ。

韓半島の今までの過酷な歴史を振り返り、日本が新羅を憎み、その延長線上に韓半島を憎み、自分の生命線だと信じてきた場所に共存共栄の地域をつく

半島の永世中立国化が理想 日本には大きな経済的効果

だ。

もっと具体的に申し上げると、韓半島の問題は核をなくすよりも、なくしたあとをどうするかという理想が目の前に描かれていなかったら、核はなくてはならない。その理想をあげて言うならば、韓半島は永世中立国になるべきだということ。さらに私たちが望むのは、東アジア共同体という構想だ。

韓半島が統一され、南北がお互いに共存共栄の関係になれば、日本にとっても大きな利益になる。例えば、日韓を隔てる海峡の下に海底トンネルを通し、半島を経由してユーラシア大陸に直結されれば、その経済的な利益はどれほど大きなものになるだろうか。

日韓における文化の開放政策が今日のヨン様ブームを巻き起こした。それを考えれば、韓半島が中立国になって、周辺諸国がそれを祝してくれた時、どれほど大きな文化的、経済的効果が生まれることが想像するに余りある。

だから、私は南北の統一、永世中立化、東アジア共同体の確立、そしてそれが世界平和につながることを考えている。今の休戦ラインも平和ラインにして、過

去の人間の愚行を展示して、世界平和を発信する特別の地域にすればいい。

さらに、今後の日韓関係を考える上で思い起こしたいことがある。それは、二〇〇一年における天皇陛下のご発言だ。天皇は「桓武天皇の生母が百済の武寧王の子孫である」と、続日本紀に記されていることに、韓国とのゆかりを感じています」とおっしゃられた。そのオモニを思いながら、韓国にある武寧王のお墓に参っていただきたい。そのことによって本当に韓国人と日本人は一つになれるだろう。

結局、今私たちが信じられることは何か。それは難しい哲学ではない。経済的理論でも、国際的力学でもない。オモニサラ、母の愛の偉大さである。

